

②環境衛生施設

環境衛生施設は、「保健衛生施設」である「保健所」1施設及び「斎場」1施設、「廃棄物処理施設」である「廃棄物処理施設」1施設、「その他施設」1施設及び「最終処分場」3施設、「その他環境衛生施設」である「公衆便所」6施設の計13施設があります。

ア 施設類型別配置状況



図 6-13 環境衛生施設の施設配置状況

イ 施設基本情報

環境衛生施設の基本情報を以下に示します。

表 6-14 環境衛生施設の対象施設一覧

施設名称	利用圏域	地区区分	所有(建物)	管理方法	延床面積(建物)	建築構造	建築年度
保健所	広域施設	茅ヶ崎	県	直営	2,873	鉄筋コンクリート造	S46
斎場	広域施設	小出	市有	直営	4,044	鉄筋コンクリート造	H4
環境事業センター(旧清掃事業所)	市域施設	鶴嶺西	市有	直営	11,949	鉄骨鉄筋コンクリート造	H7
環境事業センター(旧収集事務所)	市域施設	鶴嶺西	市有	直営	2,503	鉄骨造	H2
堤十二天一般廃棄物最終処分場	市域施設	小出	市有	埋立地は直営、水処理は委託	539	鉄骨造	H15
堤一般廃棄物最終処分場	市域施設	小出	市有	運営委託	141	鉄筋コンクリート造	S60
芹沢第3埋立地	その他施設	小出	市有	直営	-	-	-
香川駅前公衆便所	市域施設	湘北	市有	直営	24	鉄筋コンクリート造	H3
茅ヶ崎駅北口公衆便所	市域施設	茅ヶ崎	市有	直営	53	鉄骨造	H10
茅ヶ崎駅南口公衆便所	市域施設	茅ヶ崎南	民間	直営	47	鉄筋コンクリート造	不明
東海岸公衆便所	市域施設	海岸	県	直営	40	鉄筋コンクリート造	H11
柳島海岸公衆便所	市域施設	湘南	市有	直営	34	鉄筋コンクリート造	H18
サザンビーチ西公衆便所	市域施設	南湖	市有	直営	67	鉄筋コンクリート造	H27

環境衛生施設の有形固定減価償却率 (R2) = 79.2%

【コスト・利用状況】

大分類	中分類	小分類
環境衛生施設	保健衛生施設、廃棄物処理施設	保健所、斎場、廃棄物処理施設、その他施設、最終処分場

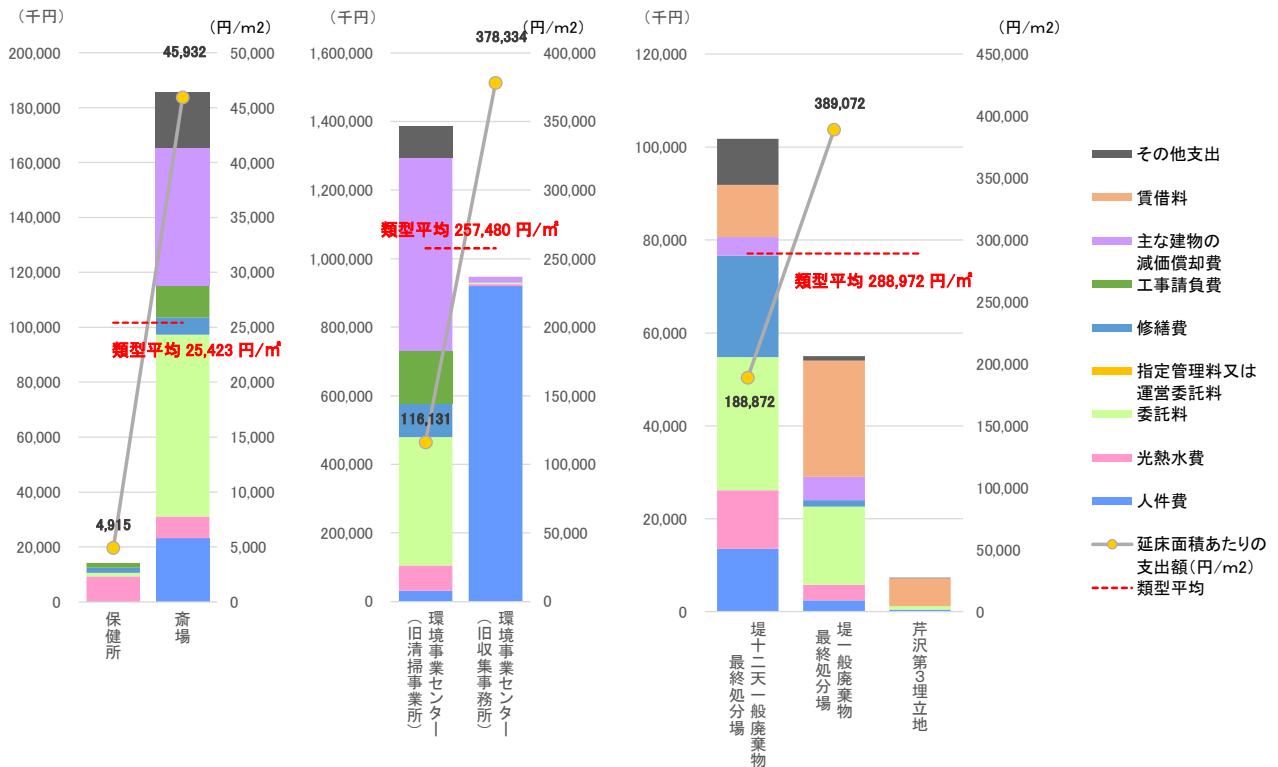


図 6-15 コスト状況 (平成 29-令和元年度平均施設支出額)

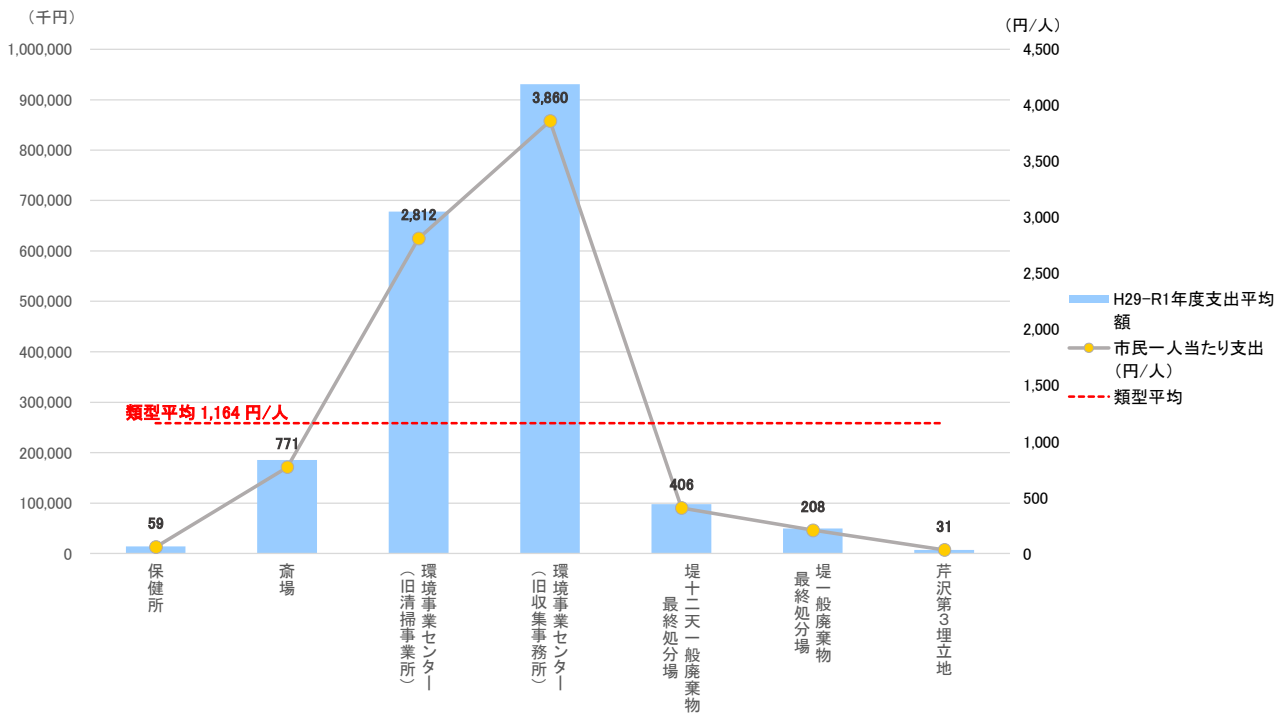


図 6-16 利用状況 (平成 29-令和元年度平均)

【コスト・利用状況】

大分類	中分類	小分類
環境衛生施設	その他環境衛生施設	公衆便所

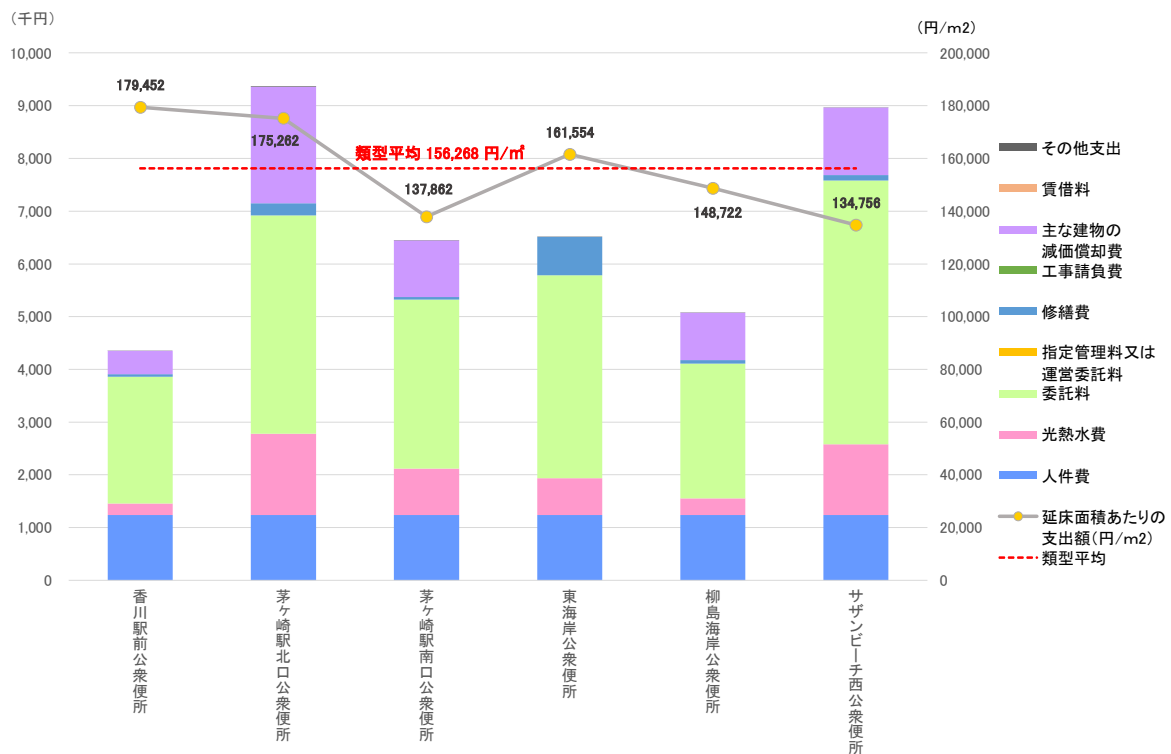


図 6-17 コスト状況 (平成 29-令和元年度平均施設支出額)

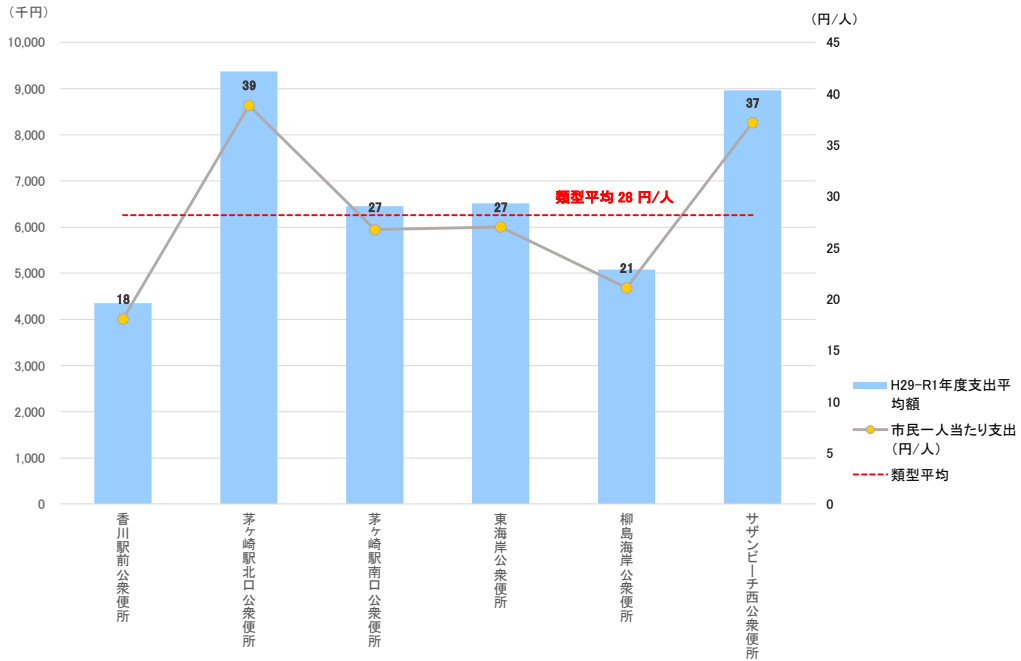


図 6-18 利用状況（平成 29-令和元年度平均）

ウ 現状と課題

視点	現状と課題
コスト	<ul style="list-style-type: none"> 環境衛生施設では、延床面積あたりの支出額は堤一般廃棄物最終処分場では 389,072 円/㎡、環境事業センター（旧収集事務所）では 378,334 円/㎡、斎場では 45,932 円/㎡となっています。 堤十二天一般廃棄物最終処分場では、年間 11,222 千円、堤一般廃棄物最終処分場では年間 25,066 千円、芹沢第3埋立地では年間 6,033 千円の賃借料がかかっています。 公衆便所では、延床面積あたりの支出額は 134,756～179,452 円/㎡となっています。このうち、清掃業務の委託料として年間 2,405～5,002 千円かかっています。
ストック	<ul style="list-style-type: none"> 斎場は築 29 年、環境事業センター（旧収集事務所）・堤一般廃棄物最終処分場・香川駅前公衆便所は、築 30 年以上、保健所は築 50 年以上が経過し、老朽化が進行しています。
サービス	<ul style="list-style-type: none"> 駅周辺や観光スポットである海岸付近へ利用者の利便性向上のため、公衆便所を設置しています。 埋立てが完了した最終処分場では、上部をスポーツ広場として活用しています。

工 今後の方針

施設類型（中分類）	今後の方針
保健衛生施設	<ul style="list-style-type: none"> • 保健所は、今後の施設のあり方を検討し、民間活力の活用による再整備や周辺の市有施設への移転、合築及び統合などを検討します。 • 斎場は、将来的な人口動態を踏まえた利用状況の変化を考慮した上で、引き続き広域連携を図るとともに、管理運営のさらなる適正化を進め、適切な維持管理を実施します。
廃棄物処理施設	<ul style="list-style-type: none"> • 廃棄物処理施設は、民間活力の活用、再生可能エネルギー設備の導入及びごみ有料化によるごみ処理量の削減効果により、管理運営コストの縮減と計画的な財源確保に努めます。 • 最終処分場は、現在埋め立て中の堤十二天一般廃棄物最終処分場はストック資産としての有益性を踏まえ、適切な維持管理を行います。埋立てが終了した処分場については早期安定化を図るべく整備を行うとともに、埋立て地上部の利活用により財源確保に努めます。
その他環境衛生施設	<ul style="list-style-type: none"> • 公衆便所は、引き続き、適切な維持管理を行い、施設の安全な状態を維持していきます。